

## 今後の子育て支援に関する検討について

< 9月2日開催「岡山市総合政策審議会保健・福祉部会」の内容 >

### (1) 議題

良質で持続的な保育サービスが提供できる体制づくり

(公立保育園と私立保育園の役割)

### (2) 主な意見

(保育の質について)

- ・ 障害児や虐待を受けている児童への対応は公民問わず、岡山市全体で取り組んで欲しい。
- ・ 行政の施策として、子どもには十分なお金をかけてもらわないといけない。それをいかに効率的にやっていくかということ。
- ・ 民営化はやむを得ないが、延長保育や一時保育などにどのように取り組んでいるのか、地域がどういうニーズを持っているかというところを見て、民営化する保育園を選別して欲しい。
- ・ 民間で良いサービスをしているのなら、公立もそのレベルに上げるのがまず先で、それから経費が下げられるのなら下げていく。もし下がらないのなら、民営化ということを最終的には考えなければいけない。
- ・ 民営化されても行政の責任がなくなるわけではない。民間でも必要なところはきちっとフォローしていくシステムをつくれればよい。

(公立保育園の意義)

- ・ 障害児保育は保育の原点で、公立で一生懸命取り組んでいていただきたい。それによって民間も頑張っていくのではないかな。
- ・ 公立保育園はより良質の保育ができるように変わって欲しい。例えば、特別保育の実施や虐待防止、育児相談など公務員の枠を取り払って乗り越えて変わって欲しい。
- ・ 公立は、保育の質の均等化や向上に向けて努力しなければ、存在価値がなくなるのではないかな。
- ・ 一般論として、公立・国立の福祉施設は、非効率でモデルとなるようなところは少ない。本来は、先駆的なこと、重度の人を受け入れることをもっとやっていくべきだ。
- ・ 延長保育や一時保育など公立でできることは公立で行う。保育の水準を上げるということは、市民ニーズを聴くということ。

- ・ 子育ての大事な部分について、民間に全部任せてしまうのは反対だ。公立の場合、ベテランの保育士が続けて保育に関わっていることは、評価できる。
- ・ より効率的にというのは企業の論理であり、それを保育へ持ってきていいのか。ある程度保育の均質性も必要であり、公立があれば、民間もある程度の保育の質を維持できる。

(私立保育園の良さ)

- ・ 本当に公立でないとできない保育があるのか疑問。結局採算性に合う人の配置ができるかどうかということなので、民間でも補助金を出せばできるのではないか。
- ・ 各地域の保育のレベルが均質になって初めて岡山市のレベルが上がっていく。直営を止めて余ったお金を均質に配分できないか。
- ・ 国も地方も財政が悪化し、逼迫している。民間に任せられるところはやってもらったらどうか。いっぺんにではなく、いくつかずつ民間になるのはこういう世の中では致し方ない。
- ・ 予算があれば民間でもできるという部分は、ある程度追加でお金を出してでも民間にやってもらってよいのではないか。最終的には、民間をもっと活用していくことが必要ではないか。
- ・ 個人の保育料は公立も民間も一緒なので、選べる側から言えば、保育園は民間でもよいのではないか。
- ・ 行政が指導監督をきちんとしていけば、民間がやっても別に問題はない。